

# つれづれ

平成29年8月9日(水)

## 平和について考える



8月6日には、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典が、本日8月9日は、長崎原爆犠牲者平和祈念式典が行われました。原爆投下から72年目の祈念式典です。

あの日、広島・長崎に落とされた原子爆弾は、一瞬にして町を阿鼻叫喚の世界に変えてしまいました。

核反応で発生した放射線は大気に影響を与え、大きな火球が形成されました。そこから発生した衝撃波は、爆風となりあらゆるものを吹き飛ばしたのです。

また、数百万℃に達した火球の熱線は、あらゆるものを焼き尽くしました。

そして、核反応によって放出された放射線や放射性物質は、その場で人の命を奪ったばかりか、その後も原爆症という形で人々を苦しめ続けてきたのです。

原爆投下は、あの大战の最終局面として仕方がなかったのでしょうか。このことについては、さまざまな見解があります。しかし、それをいくら論議しても、日本が唯一の被爆国になった事実は変わりません。

大切なことは、人類が二度とあのような惨禍を繰り返さないことです。

2009年、オバマ前米国大統領は、チェコ共和国の首都プラハで核廃絶に関する演説を行いました。その中で、「アメリカは核兵器を使用した唯一の核保有国として、行動を起こす道義的責任を有する」と広島・長崎への原爆投下に言及していました。

その後、核廃絶への世界的機運は高まったものの、現実はどうでしょうか。

今の国際情勢を考えたときに、核の脅威が減ってきたとはいいがたい局面が見えてきます。

戦争や核の脅威のない平和な世界を実現するためには、皆さん一人一人が平和に関する正しい知識を身につけ、それを人類の知恵として共有・実践していくことが大切なのです。

これからも学びを深め、皆さん一人一人が、世界平和実現の担い手となることを切に願っています。

＜保護者の皆様へ＞

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>